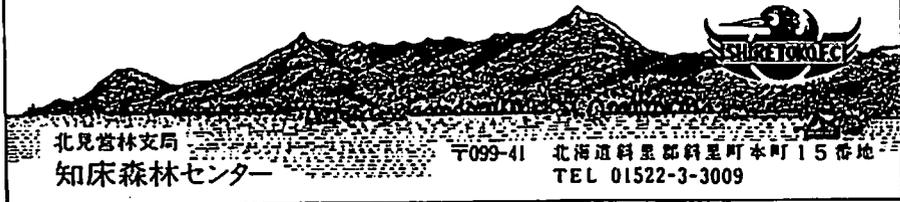


知床の森から



センターへの来訪者 千人突破！

知床森林センター・斜里営林事務所の合同庁舎が、1月17日にオープンして以来、建物（構造）の珍しさも手伝ってか、来訪者が9月末現在で一千人を突破し、月平均100人以上と盛況の状況です。特に、観光シーズンに入った6月以降は来訪者が多く、地域別では地元斜里町・道内は勿論、全国各地から知床観光の途中に立ち寄ってくれました。また職業別では、大学生・OL・定年退職後の旅行者・学校教育関係者の他、近くでは保母さんに引率された園児などバラエティに富んだ来訪者となっています。

センターとしては、来訪者に楽しんで頂き、また国有林をより理解してもらえる内容にすべく、展示室の整備・充実に向けて知恵を絞っているところです。



知床は今



例年ならば既に麓も雪に被われる時期ですが、ここ知床も世間の例にもれず、天候異常にあります。知床の山々を一度被った白いベールも、雨と暖気で解け流れ山ひだにわずかに残るだけ。また畑の秋蒔き小麦も背々と育つを見ると、この知床に「冬」は訪れるのかな・・・？。しかし、このような大きい自然の営みの流れの中で、10月、知床峠へ至る国道が閉鎖。12月、知床五湖への道も閉鎖され、知床の、人の営みは冬の眠りに入りました。センター職員も冬眠？・・・いえいえ、寝てはおれません。夏の間、追われるようにして収集し、積み重ねたままの資料のまとめ、センターの活動・PRに欠かせないパンフレットの制作、また、知床半島を目の前で実感できるよう半島立体模型の製作にと、職員一同、体力・知力を絞り精力的に取り組んでいるところです。



PR☆☆積極的参加☆☆PR

地元の特産物を安価で提供するとともに、地場産品を広く町民にPRし、町の産業振興を図ることを目的とした「しれとこ産業祭り」が10月7日開催されました。

知床森林センターでは、この行事に積極的に参画し、国有林のPRに努めておりますが今回も、知床に生息・成育する動植物の写真パネル・ビデオ放映の他、航空写真・丸太切り・年輪当てクイズ等で、知床国有林を紹介しました。



各コーナーとも賑わいを見せる中で、特に自分でシラカバ小丸太を切断し、ドリルで穴をあけペンシル立てを造ったり、センターがPR用に制作したスタンプを、輪切りに押し記念として持ち帰るなど、それぞれオリジナルな作品を造るコーナーが、賑わいをみせていました。



シリーズ「知床八景」

北海道観光には、欠かせないルートとなった知床。この知床半島ウトロ側には、知床のイメージである荒削りで壮大な景観を兼ねた、風光明媚な個所が随所にあります。特にこの中から、観光客が容易に訪れることのできる人気の高い景勝地を選び「知床八景」として、すでに紹介済みですが、「知床の森から」でも、今号より8回連載で紹介し

① カムイワッカ湯の滝

砂利道をバスに揺られて、ウトロ市街から約1時間、知床公園線のはほぼ終点にカムイワッカ川が流れています。硫黄を含んだその流れは、数10mの滝となって一気にオホーツク海に落ち込み、鉛色した冬のを白茶けた黄色に染めています。

上流の新噴火口に近い渓谷には幾つもの滝があり、岩塊の裂目から湧き出た湯は、沢水と混じり適度な湯温で滝壺に注ぎ落ち、自然の湯ふねとなって旅人の疲れを癒してくれます。

冬季間通行止となった知床公園線に静寂が戻った今、滝壺に注ぎ落ちる水音だけが、夏の名残を深わせているような「カムイワッカ湯の滝」です。



グーちゃん
800羽
巣立ち

森林センターのアイドル・キャラクター（愛称：グーちゃん）であるクマガウ。

このグーちゃん、使い古しの軍手を利用し、「ミニ縫ぐるみ」として誕生したのが今年の三月。誕生以来、大好評を得、すでに800羽以上のグーちゃんが、来訪者・イベント参加者にプレゼントされ、全国各地に飛びたちました。